第49回 岡山支部評議会 議事概要

開催日時:平成28年7月22日(金)14:00~15:55

開催場所:第一セントラルビル5階D会議室

出席評議員:浜田評議員(議長)・金谷評議員・野田評議員・武田評議員・西尾評議員・岡山

評議員・本後評議員・岡本評議員・北野評議員

議題(1) 平成27年度決算について

事務局から、平成27年度決算について資料に沿って説明。

【主なご意見】

≪事業主代表≫

調剤の伸び率が特に高くなっていることから、高額薬剤による保険財政への圧迫を危惧 する。

(事務局)

高額薬剤については、厚生労働省において薬価の改定を含め、見直しを進めている。また、使用対象を効果が見込まれる患者に限る等、高額薬剤の使用に係るガイドラインを 策定する動きがある。

■議題(1)について、平成27年度決算については、全会一致で承認された。

議題(2)平成27年度事業実施結果について

事務局から、平成27年度事業実施結果について資料に沿って説明。

【主なご意見】

≪学識経験者≫

資格喪失後の返納金債権は医療機関に請求するのか。

(事務局)

医療機関等では保険証により資格を確認しており、請求は加入者に対して行うことになる。通常は、本人が返納後、次に加入した保険者に請求していただく。ただし、本人の同意の上で、債権の保険者間調整により精算する方法があり、27 年度はこの方法を積極的に推し進め、返納金債権の回収率向上に結びついた。

≪被保険者代表≫

ジェネリック医薬品に対する不安の声を最近聞いた。

(事務局)

ジェネリック医薬品は、先発医薬品より薬代が安価で、効果・効能は同等と認められているものになる。ジェネリック医薬品に限られたことではないが、個人によっては副作用が生じる場合もあるため、医師等の判断に従い、ジェネリック医薬品から先発医薬品等に切り替えることはできる。

≪学識経験者≫

医療費適正化について、健康保険委員への情報発信はしっかり行っているのか。 (事務局)

健康保険委員の研修会や広報紙等を活用し、情報提供を行っている。

≪学識経験者≫

事業者健診を実施していても、健診実施率は約半分にとどまってしまうのか。

(事務局)

事業者健診の場合、その結果データを提供いただかなければ実施率に反映しない。結果データの提供について、繰り返し事業所様にご説明して、ご理解いただけるよう努めているところだ。ただし、提供いただくデータ項目に不備がある等、スムーズに提供いただけない面もある。

≪学識経験者≫

被扶養者の方は2割しか受診していないということだが、課題は。

(事務局)

被保険者の住所に被扶養者の受診案内を送付しているが、対象者に直接届かない場合がある。被扶養者へ直接的なアプローチができにくい。

■議題(2)について、平成27年度事業実施結果について、全会一致で承認された。

議題(3)「晴れの国から『健活企業』応援プロジェクト」の進捗について

事務局から、「晴れの国から『健活企業』応援プロジェクト」の進捗について、資料に 沿って説明

【主なご意見】

≪学識経験者≫

申出により「健活企業」に認定されるということか。

(事務局)

お申出いただいた際に、アンケートの回答や健康づくりの取組によって、S~Cランクの

評価をして、認定させていただいている。評価後も、事業所が健康づくりに継続して取り組んでいただけるよう、フォローしていきたい。

≪事業主代表≫

「健活企業」へのインセンティブはどのようなものか。

(事務局)

優良事業所は、地元金融機関の金利優遇を受けられる。また、岡山県には県知事表彰の 創設も応諾いただいている。あわせて、個人向けのインセンティブの創設も検討してい る。今後も関係機関に協力を要請し、インセンティブを更に拡大できるよう取り組んで いきたい。

≪学識経験者≫

「晴れの国から『健活企業』応援プロジェクト」の知名度が向上する施策が重要ではないか。

(事務局)

県知事表彰をはじめとして、新聞やホームページでの広報を展開していく。健康経営に 取り組む事業所の拡大を図っている他支部の動向も参考にしながら、知名度の向上を 図っていきたい。

■議題(3)について、「晴れの国から『健活企業』応援プロジェクト」の進捗について、 全会一致で確認された。

議題(4) その他

事務局から、ブロック評議会の開催、及び評議員の改選について説明。

■議題(4)について、ブロック評議会の開催、評議員の改選について、全会一致で確認 された。